

# F32申請書の項目

	ページ数
1. 表紙 (Preface)	1
2. 概要 (Abstract)	1
3. 目次 (Table of contents)	1
4. 学業成績	1
5. 研究経歴	1~2
6. 研究計画	10
参考文献 (Literatures cited)	制限無し
7. スポンサーの履歴と自ら書いた教育プラン	1~3
8. 推薦状	3人

# F32申請書の評価項目

- 候補者（候補者の経歴を含めた評価）
- スポンサーとトレーニング環境
- 研究計画（内容の評価）  
intellectual merit と technical merit における  
強みと弱み
- 人材育成の可能性
- 総合評価

# 何が重要か？日本に必要なものは？

## ➤ 優れたポストドクの育成プログラム（行政）

- フェローシップ  
（研究費を十分つけることでスポンサーにインセンティブを与える）
- 人材育成を目的とした申請と計画の評価体制
- スポンサーの責任ある育成プラン

## ➤ 大学院博士課程での育成プログラム（大学）

- 研究企画書をしっかり書ける研究者を育成させるためのカリキュラム改革（専攻科主導？）
- リーダーシップを取れる人材育成を目的とした教育改革（文科省主導？大学主導？）

# 東大先端研での教育改革の試み（PPP改革）

## ➤ Presentation

- 先端科学技術英語の授業を平成17年度より発足
- 英語でプレゼンテーションさせる技術と経験を教育
- プレゼンテーションの実践をさせ評価

## ➤ Proposal（研究企画書）

- 平成18年度より選択的必修科目として発足予定
- 学生に10ページの自己の研究に直接関連しないトピックスを選び、研究企画書を提出させる
- 配属研究室外の若手研究者（助手・講師レベル）に企画書を評価してもらい、学生にdefenseさせる

## ➤ Performance

- 学生にリーダーシップを意識させた能動的な研究活動
- プロジェクトをマネジメントできる人材育成